

優秀賞

芝浜小学校

表彰理由

芝浜小学校は、周囲に自然環境が少ない、また、学校の敷地内にも樹木や池もないという環境の中、「芝浦公園にみんなが自然にふれ合えるビオトープをつくろう」をテーマに、芝浦公園にある池で生き物の育成や植物の栽培を行い、ビオトープとして整備しました。整備に当たっては、芝浦中央公園管理事務所等と連携し環境整備・維持を行い、植栽や生き物の放流を行いました。その結果、年度当初は植栽もなく、生き物も少ない池に様々な生き物を呼び込むことにつながり、芝浜小学校の児童の環境学習で生物の多様性を発見することはもとより、地域の人が自然に親しむ場を作り出した点が高く評価できます。

3Rでは、「校内で使用する紙類削減」及び「フードロス『令和4年度実績の5%減』」をテーマに全校朝会での呼びかけや紙の再利用などの取組を展開しました。全校を挙げた呼びかけ等を実施した結果、残菜量の削減については、当初目標を上回る7%の削減に至りました。児童が一丸となって取り組み、意識の向上を図ることで、確実に成果を挙げている点が高く評価できます。

特徴的な取組

■ 地域と連携したビオトープの作成 (新規)

芝浦中央公園管理事務所や芝浦港南地区総合支所といった地域の組織と連携して校外の芝浦公園にある池を活用してビオトープを整備しました。環境美化委員の児童が中心となって、池の清掃や自ら選定した花壇の植物の世話をを行った結果、植物や生物が少なかった池で多様な生物を見つけられるようになり、児童の環境への意識を向上させることにつながっています。

■ フードロス削減に向けた呼びかけ運動 (新規)

委員会児童と栄養士が連携して、給食時間の放送や朝会において「もぐもぐタイム（静かに食事することに集中する時間）」や「愛のひとくち運動（あともう一口頑張って食べるという意識付け）」といった多様な呼びかけ運動を実施することで、令和4年度の残菜量から約7%もの削減に成功しています。

▼芝浜ビオトープ



▼フードロス削減「モグモグタイム」

